

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和6年7月23日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府亀岡市大井町小金岐4丁目24	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） パナソニック デバイスコンポーネント株式会社 代表取締役社長 川端 稔 電話番号：0771-24-6321

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	パナソニック デバイスコンポーネント株式会社
導入年月日	1997年 6月24日
認証番号	(JACO) EC97J1029
基本方針	脱炭素化を事業成長の機会ととらえ、見違える世界と持続可能な社会の実現に貢献する。また当社が提供する商品群において、より環境負荷の少ない設計・開発・製造及び販売に取り組むとともにサプライチェーンを通じ、社会におけるCO2削減に貢献する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	○電気エネルギー削減 使用量生産高原単位：2019年度比 7.5%削減 ○シアン使用量削減 使用量振出数原単位：2019年度比 38%削減 ○樹脂使用量削減 使用量振出数原単位：2019年度比 8.1%削減
目標を達成するための取組の内容	○電気エネルギー削減・・・①真空ポンプ省エネ仕様への更新、②排風機ベルト駆動ロス削減による省エネ、③排風再利用による空調負荷低減、④照明器具のLED化など。 ○シアン使用量削減・・・シアン自動投入機の運用、啓蒙活動による使用量削減。 ○樹脂使用量削減・・・再生材利用品種の追加、及び乾燥機の樹脂輸送停止管理の実施により使用量削減。
目標を達成するための取組の進捗状況	○電気エネルギー削減・・・①真空ポンプ更新⇒完了、②排風機ベルト駆動ロス削減による省エネ⇒完了、③排風再利用による空調負荷低減⇒完了、④照明器具のLED化⇒継続中。 ○シアン使用量削減・・・シアン自動投入機の運用、啓蒙活動による使用量削減。⇒継続中。 ○樹脂使用量削減・・・再生材利用品種の追加、及び乾燥機の樹脂輸送停止管理の実施により使用量削減。⇒継続中。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	○電気エネルギー削減 電力使用量生産高原単位：2019年度比 -6.8%削減 評価：× ○シアン使用量削減 使用量振出数原単位：2019年度比 42%削減 評価：○ ○樹脂使用量削減 使用量振出数原単位：2019年度比 5.9%削減 評価：×
事業活動に係る法令の遵守の状況	事業活動に係る関連法規の遵守状況について、監視項目に応じて頻度を設定し（4回/年、2回/年、1回/年）、各部門で順守状況を確認後、事業場全体で評価を実施した。⇒結果、全項目遵守の維持が確認された。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	目標未達であったが、EMSは適切かつ妥当であり、有効に機能していることを確認した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。